

94回目の柳条湖事件のチラシ配布

9月18日の木曜日、11時～12時まで天満屋アリスの広場前（表町）で、標記のチラシを配布しました。（この新聞に同封しています）

歴史をできるだけ事実に基づいて知ることが大切なのだと 思います。

同じ場所で、国連のUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の若者たちがチラシと資料を配つていました。

自分でチラシの内容を見ても、こんなに時間がたっているのだ と改めて思いました。特に若い人には現実感のない内容かもしれません。

後期高齢者と20代30代の若者です。この対比に、我ながら日本の中の置かれている現状を考えさせられました。

でも、「こういう時代だからこそ、 わたしは私と稻葉さんです。 中の置かれている現状を考えさせられました。

でもお互いにエールを交換しました。“体に 気を付けて頑張ってください”と言われました よ。ありがとう！



わかりやすくなつた
が、これみんなちゃんと
覚えてくれてるかな
……という心配が発生
した。
合わせたカードを出
すときには、省名と省
都を言う、とかそんな
感じのルールを加えた
ほうがいいかもしれな
い。
小川涼子



中国百科検定に向けた学習会

9月21日14時から岡輝公民館で、第18回中国百科検定に向けた学習会をした。参加者は4人だった。

8月に続いて、カードを使って中国の省名、省都を覚えよう、という内容だ。前回、省名省都略称と欲張つてみたら、1ゲームに30分くらい時間がかかりだったので、今回は省名と省都にしほつたカードを使った。1ゲームが15分以内で終わるくらいになった。

また、前回はカンニングペーパーを見ながらカードを合わせていたが、それも1ゲームの時間がかかりすぎる原因だったので、省都のカードの端に省名を書き加えた。



中国百科検定に向けた学習会

9月21日14時から岡輝公民館で、第18回中国百科検定に向けた学習会をした。参加者は4人だった。

8月に続いて、カードを使って中国の省名、省都を覚えよう、という内容だ。前回、省名省都略称と欲張つてみたら、1ゲームに30分くらい時間がかかるので、今回は省名と省都にしほつたカードを使った。1ゲームが15分以内で終わるくらいになった。

また、前回はカンニングペーパーを見ながらカードを合わせていたが、それも1ゲームの時間がかかりすぎる原因だったので、省都のカードの端に省名を書き加えた。



題字 故原田 親
No. 1055
2025/10/1

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒111-0053
東京都台東区池袋本町5-2-9
TEL: 03-3840-2144(FAX)
http://www.jcf.or.jp
E-mail:jcf@jcf.or.jp
郵便番号: 111-1-21118

日中友好協会 岡山支部
〒700-0014
岡山市北区下伊福
西町1-53 民主会館1F
TEL/FAX 0861-251-1800

日中友好協会 倉敷支部
〒713-0031
倉敷市福井町通3番地
TEL/FAX 0861-455-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhongyouhao.iinaa.net/>
メールアドレス
nicchuokayama@yahoo.co.jp



常州への旅⑬

真田紀子

私たちが宿泊するホテルは、蘇州の旧市街にありました。歩いて観光地を巡る絶好の場所にあつたのです。やつとたどり着いてその夜はおしまいます。

翌日朝から、近くを散歩してカフェで朝食をとります。ホテルにレストランはありません。

その後、劉老師も蘇州にやつてきて合流しました。彼女たち（小川さん、田中さん、劉老師）のもつともやりたかったこと、漢服に着替えて観光地を巡ることです。そのチャレンジの最初がメークから髪型、衣装まで揃えているお店について、まず衣装を選ばなくてはいけません。

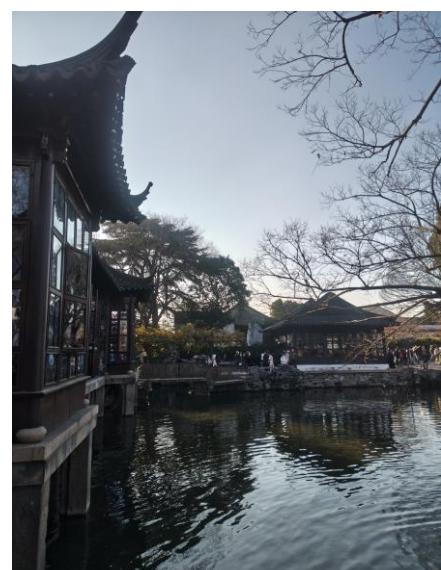
写真1



りません。次は髪の飾りつけです。ショートヘアなので髪を少量束ねて、タボを付けて髪を増量します。そこへ髪飾りの簪などを付けます。完成品の写真1です。小川さんも田中さんも劉老師も出来上りました。写真2



州にはかつての有力者が作った庭園がたくさんあります。庭園の名前は覚えていませんが、池を周遊し、岩山を配した形は共通のようです。蘇州のこの区域は世界文化遺産に登録されています。



そこはプロですので、それぞれに似合いそうな衣装を選んでくれました。私はまずお化粧をしてもらいました。ファンデーションなど塗ったのは何年ぶりでしょう、それもかなり厚く塗ります。お任せするしかあ

“謝謝”
そこは、麺類のお店でした。少し旧市街から離れた場所だったので、私たちの漢服姿は目立ちます。通りすがりの子供たちから“很漂亮”と声をかけられました。

ちようどお昼になりましたので、老師の友人たちが待っているレストランまでバスに乗つて移動します。通りすがりの子供たちから“很漂亮”と声をかけられました。

会費請求業務

9月6日(土)10時～岡西公民館にて、2025年10月～2026年3月までの会費を前納していただく請求書を作成しました。担当は真田支部長と青木理事です。

今日の新聞に同封しますので、皆さまご協力よろしくお願ひいたします。



次回の新聞発送作業は
10月14日(火)午前10時半から
民主会館1階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

河井
真田
犬飼

真田紀子

15年戦争資料センター第8回研究会

ドラキュラ伯爵の観光人類学－「本物らしさ」を売る
標記の研究会が、9月20日(土)の14時から岡西公民館にて開催されました。

タイトルにひかれて参加してきました。

ルーマニアにあるブラン城は「ドラキュラ城」として多くの人を集め的一大観光地となつているようです。

ところが、「吸血鬼ドラキュラ」のモデルは、15世紀のワラキア公国君主ヴラド3世(ヴラド串刺し公)とされていますが、歴史上このブラン城との接点はほとんどないそうです。

「吸血鬼ドラキュラ」の聖地巡礼としての観光地として、ルーマニアの中で交通の便利が良く、見栄えのいいブラン城のほうが有名になつてしまつた。本当かどうかというのは、重要なファクターではないのかもしれない。

もともと、吸血鬼という仮想の話題(1879年の小説)に実在の人物を重ねると無理があるので、城がヴラド3世とかわりがあるがなからうか、観光客には問題がないということなのでしょうか。観光にとって「本物らしさ」とはなんでしょうね。